

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	鹿児島県
取組市町村名 取組団体・企業名	知名町
取組の名称	食育地産地消推進
実施時期	6月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☐ 1 みんなで楽しく食べよう ☐ 2 朝ごはんを食べてよう ☐ 3 バランスよく食べよう ☐ 4 太りすぎないやせすぎない ☐ 5 よくかんで食べよう ☐ 6 手を洗おう ☐ 7 災害にそなえよう ☐ 8 食べ残しをなくそう ☒ 9 産物を応援しよう ☒ 10 食・農の体験をしよう ☐ 11 和食文化を伝えよう ☒ 12 食育を推進しよう
取組内容	知名町農業青年クラブ（4HC）と同町のジャガイモ加工業、勘里洋介さんが栽培、加工したポテトチップスが19日、町内の学校給食で出されました。両者はこの日、給食時間に合わせて町立住吉小学校（伊口秀樹校長、児童39人）を訪問。島産ジャガイモの魅力や栽培から加工までの苦労を伝えました。 毎月19日の「食育の日」に合わせた地産地消の取り組みの一環で初めて企画。4HC会員の幸山利忠さんが栽培したジャガイモ30キロを勘里さんがポテトチップスに加工しました。 住吉小では4HCが島で作られているジャガイモの品種や栽培の流れ、勘里さんがポテトチップスの製造過程を説明した後、一緒に給食を楽しみました。 5年の児童は「島でたくさんの品種のジャガイモが作られていることに驚いた。おいしかったので、きょう聞いたことを参考に自分でも作ってみたい」と笑顔で話しました。 4HCの池上翔会長（32）は「この取り組みを通して子どもたちに島の作物や農業に興味を持ってもらえたらうれしい」、勘里さんは「原料からポテトチップスになるまでどういう手がかえられているか、手作りの大変さを知ってもらいたい」と話しました。（6月21日南海日日新聞より）

